



エネージュSE が Net Zero Energy House(ZEH) に !!

外張り断熱の家「エネージュ SE」は、京都府立大学の省エネルギー・住環境の動的予測評価研究の第一人者である工学博士尾崎 明仁 教授に、高効率設備機器との組み合わせによる家庭内での省エネルギーと太陽光発電システムによる創エネルギーがあつた場合に、一年間を通じての正味の二次エネルギー消費量が「ゼロ」になる『Net Zero Energy House (ZEH)』であることが、実測および数値シミュレーションにより明らかになりました。「ZEH」は国が2020年までに標準化を目標とする新築住宅のあらし基準です。これからの住宅は省エネのことを考えた高断熱・高気密住宅と高効率機器の導入により、健康・安全性、快適性、利便性を低下させることなく、住宅内のCO₂排出量を大幅に削減することが求められています。「エネージュ SE」は“光熱費ゼロ住宅”からもう一步進んだ、まさに次世代に通用する新たな省エネ住宅といえるでしょう。

**光熱費が
ゼロ円どころか
儲かってしまう
省エネ住宅！**



▲尾崎教授からの報告書

▲尾崎教授（左）と弊社社長 西津昌廣（右）

年間儲額
74,446円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
太陽光発電による売電料金	8,166	8,650	10,311	16,023	15,001	13,789	11,551	11,753	10,942	10,635	10,324	8,126	135,271
買電料金	7,531	6,609	6,367	3,971	3,966	3,831	4,345	4,516	4,037	4,358	4,341	6,953	60,825

※平成24年5月尾崎研究室による報告書による(3人世帯の光熱費 / 太陽光発電システム 3.9kW 搭載の場合)

平均的な光熱費(3人世帯)	19,559	16,463	14,037	13,323	13,876	14,264	13,725	14,319	18,157	23,619	25,221	23,644	210,207
---------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

※平成24年総務省 家計調査 参照データ(3人世帯の光熱費)

エネージュSE とガス併用の新省エネ基準以下の性能の住宅との光熱費の差は 年間284,653円にもなります！

新省エネ住宅(平成4年告示) の年間電力消費量



電力量
約60%削減

エネージュ SE + 高効率機器(トップランナーオ方式)
+ ライフスタイル指定(暖房20°C・冷房27°C設定)

太陽光発電システム(3.9kW) 搭載で
一年間での正味の二次エネルギー消費電力量*を
上回る発電量!!(※夫婦+子供一人の3人家族で試算)

つまり、

「ネットゼロエネルギー住宅」

創った電力 !!

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
太陽光発電 発電量[kWh]	267.72	281.64	327.76	445.43	431.56	401.43	388.55	389.37	338.78	311.13	295.73	257.05	4136.14
消費電力量[kWh]	454.81	417.30	408.32	269.10	260.07	237.40	297.87	299.80	255.16	261.22	273.78	414.78	3849.59

※平成24年5月尾崎研究室による報告書による(3人世帯の光熱費 / 太陽光発電システム 3.9kW 搭載の場合)

使った電力 !!

創ったエネルギーの方が多い !